



シナプス

～園長室だより～



平成31年3月

■卒園おめでとう！～時代の変革と子どもたちのこれから～

今回の内容

いよいよ年長さんは卒園、そして平成も残りわずかとなり、新元号にAI（人工知能）時代の本格的到来と、正に大きな時代の節目を迎えている平成31年ですが、「幼児教育・保育の無償化」も10月に行われることが決定し、時代の不透明感と共に、無償化の中身が未だ定まらないことに、どうなるものかとヤキモキしているというのが正直なところですよ。

思い返せば、「幼保一元化」の元に始まった改革が、蓋を開けてみると三元化（幼稚園・こども園・保育園）し、国の施策とはいうものの、子どもたちのことを本当に考えてのことなのか、どこを見ての施策なのか考えざるを得ないのが実情です。

とは言うものの、時間は常に流れています。まもなく迎える年長さんの卒園も本当にあっという間でした。真新しい体操服や制服を着ているというよりも逆に着せられているような入園式での可愛い姿が昨日のように思い出されます。この3年間で、日々の生活はもちろん、各種行事を通して本当に心身共に大きく成長してくれたことが、嬉しくもあり、誇らしくもあります。この大東中央幼稚園で過ごした3年間の体験・経験を大いに生かし、これからの小学校生活を充実したものにしてもらえればと思います。これからますますAI（人工知能）化は進んでいきます。20～30年前に今の「スマホ時代」が想像できなかったように、これからの時代も今までの常識が通用しない、新たな時代になることも必至です。そんな時代だからこ

そ子どもたちに必要な力（非認知能力等）を中心に据えつつ、「知・情・体 三位一体」の総合全人教育を展開してまいりました。

非認知能力とは、いわゆる「心の力」になりますが、自己肯定感や自尊心、自制心などの「自分に関わる力」や、協調性や共感性、道徳性などの「社会に関する力」等のこと指しますが、いずれにしても、子どもたちはロボット化しないことが大切です。言われた事をただこなすだけではなく、自分の頭で考え、問題意識を持ち、問題の解決策を探る。仲間と共に意見を出し合い、折衷案を探る「協働性」等。簡単なことではありませんが、そういった「育ち」が必要だということを保護者の方にも改めて認識して頂き、子どもたちに問いかけ、自分で考える環境を作ることもとても重要です。

これから益々人間らしさが重要になりますが、そもそも人間らしさとは何なのか？人としての在り方、人らしさを知ることもこれからの勉強の一つです。

AI時代だからこそ、知識と共に、その知識を生かす力を培い、新たな世界を創造してくればと思います。子どもたちの可能性はまだ無限です。そんな可能性に満ち溢れた子どもたちだからこそ、「あかるく・やさしく・たくましく」の言葉通り、知識や芸術にあかるく、全ての動植物にやさしく、身体も心もたくましい。そんな人を目指して、これからの道のりを励んでくればと思います！

卒園おめでとうございます！

■園長コラム

卒園おめでとう！

■表彰

「皆勤・精勤」をはじめ、「体育の見極め結果」や「各種絵画造形展」の入賞者の発表です！

■身長・体重

そして万歩計！

月に一度行う「身体測定」の数値と子どもたちの園内での運動量を把握するために定期的に計っている「万歩計」の数値をお伝えします。

園長 野口 大仁